

クラス番号	211	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	小林勇人
テーマ	福祉を重視する社会への変革——無農薬有機栽培を手掛かりに		

## ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

本ゼミの目的は、①様々な社会問題とその背後にある社会システムについて理解し、②福祉を重視する社会に変えていくための課題を把握することです。

具体的な内容は、長時間労働や失業などの労働問題や貧困問題、いじめや不登校などの教育問題、さらには難民問題などの社会問題を知り、その背後にある資本主義や福祉国家などの社会システムを理解します。そのうえで、それらの問題を解決するために、労組や生協などの社会運動、NPO・NGOなどの非営利組織、雇用や社会保障などの制度に注目して、政策的・実践的な提案を行います。

方法として、①参考書を丁寧に読むとともに要約を書くことで、社会問題と社会システムについて理解し、②各自の関心のあるテーマを集約してグループを作ったうえで、各グループのテーマについてフィールドワークを通して深め、具体的な問題解決策を提案してもらいます。

様々な現場における社会問題を、その背後にある社会システムを通して理解することによって、多様な問題に共通する構造や仕組みが浮かび上がってきます。またそれらの構造や仕組みに位置付けることによって、各問題を解決するために必要な課題も見えてくるようになります。

授業計画：

<前期>

前期は、<読む>力と<書く>力の獲得に重点を置きます。参考書を要約し、グループに分かれて討論し、全体で共有します。これらを通して、後期のグループワークのテーマ選びに繋げていきます。

<後期>

後期は、<聞く>力と<話す>力の獲得に重点を置きます。無農薬有機栽培の農園でフィールドワークを行い、ゼミ内で報告会を行います。フィールドワーク前後の学習はグループワークを中心に行います。

## 担当教員からのメッセージ

社会問題を解決し、福祉を重視する公正な社会を実現するためにはどうしたらいいのか？ 皆さんと粘り強く考えていきたいと思えます。これはおかしい！ という問題意識を重視したいので、新聞や雑誌、TV、ドキュメンタリーなどを通して、社会問題への関心を広げておいてください。

フィールドワーク先について、例えば、農業によって障害者の雇用を促進する「農福連携」がイメージしやすいかもしれませんが。ただし、ゼミでは、無農薬有機栽培を手掛かりに、効率や生産性を重視した社会の仕組みについて広く考え直していきます。そのため農福連携だけではなく、「地域活性化」や「コミュニティの再生」も重要なテーマとなります。詳細は、皆さんの希望を聞きながら決めていきます。

美浜キャンパスは、豊かな自然に囲まれています。フィールドワークの導入として、森や海にもでかけて行く予定です。楽しいゼミにしていきたいと思います。